

安満遺跡公園(現地学習)

講師：鐘ヶ江一朗先生（高槻市埋蔵文化財センター元所長）

参加生徒：20名

日時：2026年4月24日13時～15時 場所：安満遺跡公園（高槻市）

午前中の座学後に安満遺跡公園まで移動し、講師の先生の説明を聞きながら、公園内の施設や遺跡関係の資料などを巡りました。
安満遺跡は弥生時代の環濠集落で、遺跡内に居住域、水田域、墓域が揃っている珍しい遺跡です。以前この地には旧京都大学農場がありました。農場の移転の後、安満遺跡(史跡指定地)を含む広々とした公園となりました。



安満遺跡公園



環濠集落跡



環濠集落図



環濠跡が一周再現されています。



a.水田跡復元



b.木棺実物写真
(実物大)



環濠内には元京都大学農場時代の建物
(登録有形文化財)が保存・活用されています。



気候も良く弥生時代に思いを巡らせながら
ゆっくり学習できました。

2500年ほど前から何世代にも渡って弥生人たちがこの地で暮らしていたとのこと、まさにロマンを感じられる現地学習でした。